

③ 英語言語材料一覧

*印は編集部の注

| 音声 | 文 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・現代の標準的な発音 ・語と語の連結による音変化 ・語, 句, 文における基本的な強勢 ・文における基本的なイントネーション ・文における基本的な区切り | <ul style="list-style-type: none"> ・単文 ・重文 ・複文 ・平叙文 (肯定・否定) ・命令文 (肯定・否定) ・疑問文 <ul style="list-style-type: none"> 〔動詞で始まるもの 助動詞 (can, do, may) で始まるもの or を含むもの 疑問詞で始まるもの |
| 文構造 * 「文型」 から 「文構造」 に表記が変わった | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ S+V ・ S+V(=be)+C(=n., pron., adj.) ・ S+V(≠be)+C(=n., adj.) ・ S+V+O <ul style="list-style-type: none"> 〔=n., pron., 動名詞, to 不定詞 =how(など)+to 不定詞 =that で始まる節 =what などで始まる節 * 「理解の段階にとどめる」 という表記がはずされた | <ul style="list-style-type: none"> ・ S+V+O+O <ul style="list-style-type: none"> 〔=n., pron., =how(など)+to 不定詞 * 「理解の段階にとどめる」 という表記がはずされた ・ S+V+O+C(=n., adj.) ・ There+be 動詞+~ ・ It+be 動詞+~(+for ~)+to 不定詞 ・ S+tell, want など+目的語+to 不定詞 |

* 以上は中学既習事項。高校ではそれぞれの科目の目標を達成するのにふさわしいものを適宜用いて行わせる

● 「言語の使用場面の例」及び「言語の働きの例」

| 言語の使用場面の例 | 言語の働きの例 |
|--|---|
| <p>a. 特有の表現がよく使われる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物 ・旅行 ・食事 ・電話での応答 ・手紙や電子メールのやりとり など <p>b. 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしに関わる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での生活 ・学校での学習や活動 ・地域での活動 ・職場での活動 など <p>c. 多用な手段を通じて情報を得る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本, 新聞, 雑誌などを読むこと ・テレビや映画などを観ること ・情報通信ネットワークを活用し情報を得ること <p>* 創作的なコミュニケーションの場面がはずされた</p> | <p>a. コミュニケーションを円滑にする：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を発展させる ・話題を変える など <p>b. 気持ちを伝える：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など <p>c. 情報を伝える：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など <p>d. 考えや意図を伝える：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など <p>e. 相手の行動を促す：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など |

| | 中学 | 高校 |
|--------|--|--|
| 代名詞 | <ul style="list-style-type: none"> ・人称 ・指示 ・疑問 ・数量 ・関係代名詞（主格の that, who, which 及び目的格の that, which の制限的用法） * 関係代名詞について、「理解の段階にとどめる」「基本的なもの」という表記がはずされた | <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の用法 ・代名詞のうち, it が名詞用法の句及び節を指すもの |
| 動詞・助動詞 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在 ・過去 ・未来 ・進行形(現在・過去) ・現在完了形 ・助動詞などを用いた未来表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の用法(新規) ・動詞の時制 * 動詞の時制についての具体的な記述がはずされた |
| 形容詞 | <ul style="list-style-type: none"> ・比較変化 | |
| 副詞 | <ul style="list-style-type: none"> ・比較変化 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の用法 |
| 不定詞 | <ul style="list-style-type: none"> ・to 不定詞 * 「基本的なもの」という表記がはずされた | <ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の用法 |
| 動名詞 | <ul style="list-style-type: none"> ・動名詞 * 「基本的なもの」という表記がはずされた | |
| 分詞 | <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞的用法(現在分詞・過去分詞) | <ul style="list-style-type: none"> ・分詞構文 * 「基本的なもの」という表記がはずされた |
| 受け身 | <ul style="list-style-type: none"> ・受け身 * 「現在形及び過去形」という表記がはずされた | <ul style="list-style-type: none"> * 「受け身のうち, 助動詞+受け身のもの」という表記がはずされた |
| 仮定法 | | <ul style="list-style-type: none"> ・仮定法 * 「基本的なもの」という表記がはずされた |
| 文字 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの活字体の大文字及び小文字 | |
| 符号 | <ul style="list-style-type: none"> ・終止符, 疑問符, コンマ, 引用符, 感嘆符などの基本的な符号 | |
| 新出語 | <ul style="list-style-type: none"> ・1,200 語程度の語 * 必修語がなくなった 旧規定では 900 語程度まで(うち必修語 100)「まで」という上限がなくなった | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション英語Ⅰ 中学+400 語程度 ・コミュニケーション英語Ⅱ 中学+Ⅰ+700 語程度 ・コミュニケーション英語Ⅲ 中学+Ⅰ+Ⅱ+700 語程度 ・上記以外の科目については, 生徒の学習負担を考えた適切な語 |
| 連語 | <ul style="list-style-type: none"> ・in front of, a lot of, get up, look for などの連語 * 具体例が挙がった 「基本的なもの」という表記がはずされた | <ul style="list-style-type: none"> ・運用度の高いもの |
| 慣用表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・excuse me, I see, I'm sorry, thank you, you're welcome, for example などの慣用表現 * 「基本的なもの」という表記がはずされた | <ul style="list-style-type: none"> ・運用度の高いもの |